

地域と  
共生する  
FFG

# 福岡を創った男 黒田官兵衛

「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会



黒田如水像(19世紀、福岡市博物館蔵)

# 黒田二十四騎像

黒田官兵衛には「黒田二十四騎」と謳われた勇猛な武将達が仕えていました。



小河伝右衛門信章



久野口兵衛重勝



黒田修理助利則



黒田兵庫助利高



栗山備後利安



後藤總岐基次



益田与助正親



桐山丹波丹齊



黒田美作一成



母里(毛利)但馬友信



黒田図書助直之



井上周防之房



野村太郎兵衛祐勝



吉田壱岐長利



菅和泉正利



村田出羽吉次



堀平右衛門定則



原伊豫種良



三宅若狭宗義



野口佐助一成



竹森石見次貞



林掃部直利



衣笠因幡景延



毛屋武蔵武久

黒田二十四騎像は、FFG本社ビル受付横に展示されています。

「福岡市内」の  
黒田官兵衛  
ゆかりの地



**1** 名島城跡 (提供:福岡市)

福岡市東区名島1-26  
西鉄バス「名島」徒歩15分



**2** 福岡藩主黒田家墓所 (提供:福岡市)

福岡市博多区千代4-7-79(崇福寺内)  
福岡市地下鉄「千代県庁口駅」徒歩5分



**2** 崇福寺 (提供:福岡市)

福岡市博多区千代4-7-79  
福岡市地下鉄「千代県庁口駅」徒歩5分



**3** 福岡城 (提供:福岡市)

福岡市中央区内  
福岡市地下鉄「赤坂駅」徒歩8分



**4** 舞鶴公園 (提供:福岡市)

福岡市中央区内  
福岡市地下鉄「赤坂駅」徒歩8分



**5** 大濠公園 (提供:福岡市)

福岡市中央区大濠公園  
福岡市地下鉄「大濠公園駅」徒歩すぐ



**6** 福岡市博物館 (提供:福岡市)

福岡市早良区百道浜3-1-1  
福岡市地下鉄「西新駅」徒歩15分



**7** 馬ヶ岳城跡 (提供:行橋市教育委員会)  
福岡県行橋市大字津積字馬ヶ岳  
JR「行橋駅」から車で15分



**8** 法然寺 (提供:築上町)  
福岡県築上郡築上町東八田922-3  
JR「築城駅」徒歩10分



**9** 城井ノ上城址 (提供:築上町)  
福岡県築上郡築上町寒田  
JR「築城駅」から牧の原キャンプ場まで車で40分  
駐車場から徒歩10分



**10** 桜狩の歌 (提供:豊前市)  
福岡県豊前市大字鳥井畑247 (求菩提資料館)  
豊前市バス「求菩提資料館」徒歩すぐ



**11** 西光寺 (提供:飯塚市)  
福岡県飯塚市馬敷283  
JR「桂川駅」から車で15分



**12** 冷水峠 (提供:飯塚市)  
福岡県飯塚市内野～筑紫野市山家  
JR「筑前内野駅」から車で10分



**13** 如水の井戸 (提供:太宰府市)  
福岡県太宰府市宰府4-7-1  
(太宰府天満宮内)  
西鉄「太宰府駅」徒歩5分



**14** 麟翁寺 (提供:嘉麻市)  
福岡県嘉麻市大隈町1023  
西鉄バス筑豊「嘉穂支所」徒歩2分  
または、JR「桂川駅」から車で15分



**15** 円清寺 (提供:朝倉市)  
福岡県朝倉市杷木志波5276  
JR「筑後吉井駅」から車で20分



「博多どんたく港まつり(5月3日開催)」でのパレードの様子(黒田官兵衛どんたく隊)  
黒田官兵衛に扮する黒田家16代当主黒田長高公を先頭に、甲冑を着た武将隊や法被を着た官兵衛どんたく隊がどんたく広場を練り歩きました。

## はじめに

2014年のNHK大河ドラマは、「軍師官兵衛」に決定しました。主人公の黒田官兵衛(孝高)は1546年播磨国(兵庫県姫路市)に生まれ、天下人の織田信長、豊臣秀吉に戦(いくさ)の参謀「軍師」としての才能を見出され、備中高松城の水攻めをはじめ、中国、四国、九州の平定で重要な役割を担いました。

福岡県は、福岡市をはじめとする黒田官兵衛・黒田藩にゆかりのある市町や民間団体等と「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会を今年4月に設立しました。NHK大河ドラマを契機として県内各地にある史跡・史料を全国に発信し、多くの観光客の方に黒田官兵衛ゆかりの地・福岡を訪れ、史跡めぐりを楽しんで頂けるように取り組んでいます。

今回は、福岡県内にある官兵衛ゆかりの地をご紹介します。



馬ヶ岳城は九州最初の居城だよ!



馬ヶ岳城跡 (提供:行橋市教育委員会)

### 黒田官兵衛の居城「馬ヶ岳城」

九州平定の戦功として、黒田官兵衛は秀吉から豊前国(大分県及び福岡県の一部)のうち京都・築城・仲津・上毛・下毛・宇佐の6郡を与えられます。黒田家の文書である「黒田家譜」によれば、官兵衛は天正15年(1587年)、豊前国京都郡の馬ヶ岳城(行橋市大谷・みやこ町犀川)に入城しています。

馬ヶ岳城は、天慶5年(942年)、源経基により築城されたと伝えられ、神馬の姿に似ていることから馬ヶ岳と呼ばれています。秀吉は、九州征伐の過程で島津氏を討つため、遠征軍を自ら率い、豊前小倉城(北九州市)を経て、馬ヶ岳城に滞在したという記録があります。

官兵衛は、翌年(1588年)、中津城(大分県中津市)に移りました。黒田官兵衛は中津城主として知られていますが、九州最初の居城は、実は馬ヶ岳城でした。





名島城にも  
いたんだよ!



名島城跡(提供:福岡市)

ており、九州最古の桜の花見は、秀吉の側近・官兵衛が中津城主時代に行ったのではないかとの説があります。これらの史料は、求菩提資料館（豊前市鳥井畑）に展示されています。

### 福岡藩祖・黒田如水（官兵衛）

官兵衛と博多との繋がりは、秀吉の命による大閘町割に遡ります。戦乱で疲弊した博多の町の復興を考えた秀吉は、官兵衛に博多の復興プランの策定を命じました。官兵衛は家臣・久野四兵衛に指示して天正15年（1587年）末頃、呉服町・小山町を機軸にした街区割りができあがったといわれています。

その後、中津城主となった官兵衛は、天正17年（1589年）、44歳で家督を長政に譲り、如水と名を改めました。

長政が関が原の戦いでの論功を徳川家康に認められ、筑前国52万石を与えられたことにより如水と福岡（博多）との関わりが再開します。如水と長政はまず、慶長5年（1600年）、小早川隆景が築城した名島城（福岡市東区名島）に入



上段左：福岡城跡、右：舞鶴公園、下段：大濠公園（提供：福岡市）

りました。その後、九州一の商業都市に発展していた博多の町を城下町に取り込むことを考え、当時の福岡（福岡市城内）という場所に福岡城築城を行うことにしました。如水の曾祖父・高政が黒田家発展の礎を築いた備前・福岡村（現在の岡山県瀬戸内市長船町福岡）にちなんで、新たな城と城下町を築くに際して、この福岡という地名を福岡に改称しました。これが「福岡」の地名の始まりです。

築城に際して、良材を求めるため如水は筑豊地域を訪れています。飯塚市にある西光寺（飯塚市馬敷）には度々宿泊しており、寺には如水直筆の「如水圓清」という法号や如水が徳川家から拝領した火鉢など如水ゆかりの品が保管されています。

また、如水発案で長政のときに、冷水峠越えの長崎街道が開設されました。いまでも当時の石畳がそのまま残っています。小倉から長崎を結ぶ長崎街道は江戸時代、参勤交代で利用され、福岡藩内の長崎街道沿いには、筑前六宿という宿場町が形成され、賑わいました。内野宿（飯塚市）、木屋瀬宿（北九州市）などでは当時の建物が残っています。



西光寺 (提供:飯塚市)



冷水峠は  
長崎街道の  
ルートだよ!



冷水峠 (提供:飯塚市)



如水が隠棲時に  
使っていた  
井戸だよ!

如水の井戸(提供:太宰府市)

### 太宰府天満宮と如水(官兵衛)

如水(官兵衛)は、福岡城内の居館が完成するまでの間、太宰府で隠棲いんせいしました。如水が隠棲していた際に茶の湯で使っていた井戸(如水の井戸)や如水を祀まつった如水社が太宰府天満宮内にあります。如水が奉納した「夢想之連歌むそうのれんが」、太宰府天満宮の楼門等の修理のため如水の寄進や長政の寄付を報じた書状「黒田如水書状」などの史料も太宰府天満宮に保管されています。

### 黒田官兵衛の精鋭部隊・黒田二十四騎

黒田官兵衛・長政には、黒田二十四騎と呼ばれる24人の精鋭家臣がいました。これらの家臣にまつわる史跡も県内各地にあります。

黒田節のモデルとなり、名槍「日本号めいしやう」を福島正則から呑み獲った逸話をもつ母里太兵衛友信もりたへえともゆぶは豊前国との国境を守るために設けられた出城の鷹取山城(直方市および福智町)、益富城(嘉麻市)の城主となり、その墓は菩提寺・麟翁寺りんおうじ(嘉



円清寺(提供:朝倉市)



麟翁寺(提供:嘉麻市)



中央に座る黒田如水墓石(提供:福岡市)

麻市大隈)にあります。母里太兵衛友信が城主となつた益富城の搦手門（かちめてもん）は麟翁寺に移築されており、寺の宝として母里太兵衛友信の甲冑（かちゅう）や肖像が残っています。

同じく黒田二十四騎の一人で、麻氏良城城主だつた黒田藩家老・栗山備後利安（としやす）は主君・如水の菩提を弔うため円清寺（えんせいじ）（朝倉市杷木志波）を建立しました。寺には黒田如水や長政の肖像画などが残っています。



### 黒田如水の晩年と 黒田家ゆかりの品

如水は築城の名手として、息子長政とともに福岡城の「縄張り」(城の門、堀、虎口、曲輪等の配置を指す)を作り、晩年は城内三の丸に設けられた御鷹屋敷（おたか）で、妻幸円とともに静かに暮らしました。

慶長9年(1604年)3月20日、如水は京都伏見の藩邸で亡くなり、崇福寺（そうふくじ）(福岡市博多区千代)に葬られました。現在、黒田家の菩提寺である崇福寺では毎年3月20日に如水の法要が営



八番上川端通

軍師官兵衛

走る飾り山笠  
 この山笠はこのまゝ走ります  
 12 午後4時35分 15 午前5時35分  
 日 前田入 日 帯田入

今年は山笠に  
 いっぱい  
 登場したよ!



軍師官兵衛をテーマとする飾り山笠(八番山笠 上川端通流)  
 今年の山笠では、黒田官兵衛や黒田武士をテーマとする飾り山笠、昇き山が9ヵ所で開催され、地元・福岡でも盛り上がりました。



福岡市博物館(提供:福岡市)



崇福寺山門(提供:福岡市)

まれています。

織田信長から拝領した名刀「へし切長谷部」、豊臣秀吉自筆の官兵衛宛書状、母里太兵衛友信が呑み獲った名槍「日本号」など黒田如水や黒田家ゆかりの品々は現在福岡市博物館(福岡市早良区百道浜)に展示されています。

**おわりに**

この他にも福岡には、黒田官兵衛並びに黒田藩に関する史跡・史料が多数存在しますが、紙面の都合上、その一部をご紹介します。これから協議会の活動を通じて、1つでも多くの史跡・史料を紹介し、大河ドラマ「軍師官兵衛」を契機とした観光振興に努めてまいります。ぜひ黒田官兵衛(如水)ゆかりの地・福岡にお越しください。

参考文献:「黒田如水 臣下百姓の罰恐るべし」

(ミネルヴァ日本評伝選)

小和田 哲男 著



博多駅前の黒田節像…民謡『黒田節』で謡われるエピソードは、母里太兵衛を題材にしたもの。福島正則から「飲み干せば何でも褒美を取らす」と酒を大盃に注がれ、見事に何杯も飲み干した母里太兵衛が、正則秘蔵の名槍「日本号」を呑み獲ったという逸話。